

SDGsと事業活動

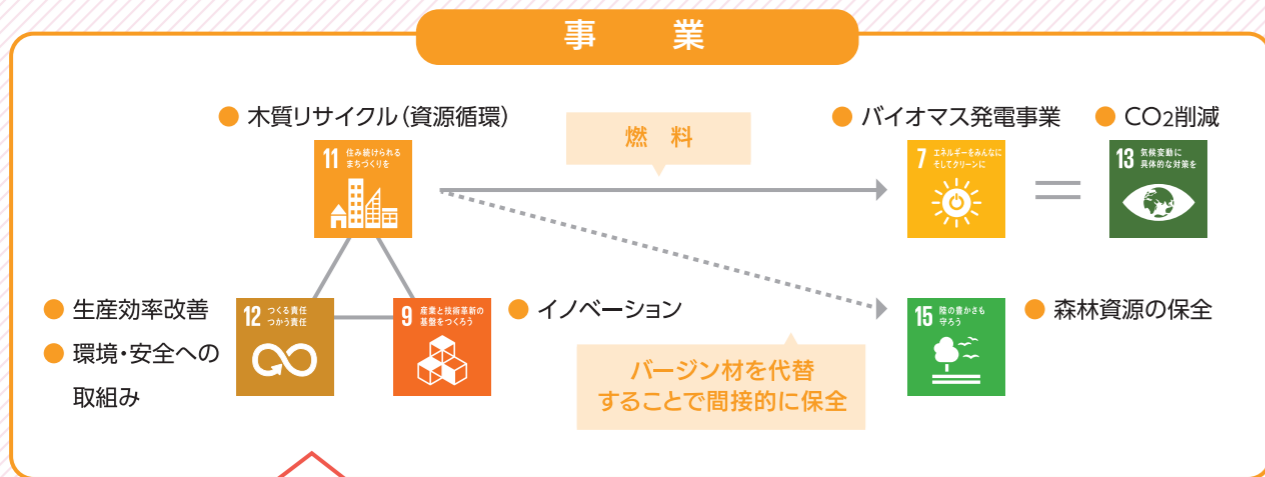
フルハシEPOでは、持続可能な社会の実現のために国連が定めたSDGs(持続可能な開発目標)の取組みを通じて社会課題の解決に積極的に貢献していきます。

持続可能な開発目標(SDGs)

2015年9月、国連において「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。アジェンダでは行動指針として、2030年までの実現を目指す「持続可能な開発目標」(SDGs: Sustainable Development Goals)を掲げており、17の目標と169のターゲットに全世界が取組むことによって「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しています。



企業活動とSDGsの関係



組織体制

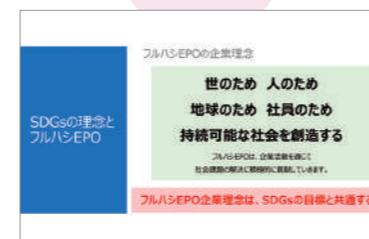
- 社員研修の充実
- 女性従業員・管理職
- 安定した雇用づくり
- 障がい者雇用、ダイバーシティ

プロジェクト

- 有機水耕栽培システム
- スズアオノリ養殖研究
- ライフサイエンス事業 (ヨガスタジオの運営)

フルハシEPOのSDGs取組み

理解



社員向けSDGs研修の実施

SDGsに関する理解向上を目的に、社員を対象としたSDGs研修をe-ラーニング形式で実施しています。SDGsの趣旨や企業が取組む意義、フルハシEPOの企業活動との関連について動画教材で学んでいます。

取組み



主力業務を通じた貢献

フルハシEPOは、主力業務として木質リサイクルチップの製造を行っています。建設廃材を廃棄物ではなく、資源として有効活用しています。製造された木質リサイクルチップの一部は、バイオマス発電燃料としてクリーンエネルギーを生み出しています。

報告

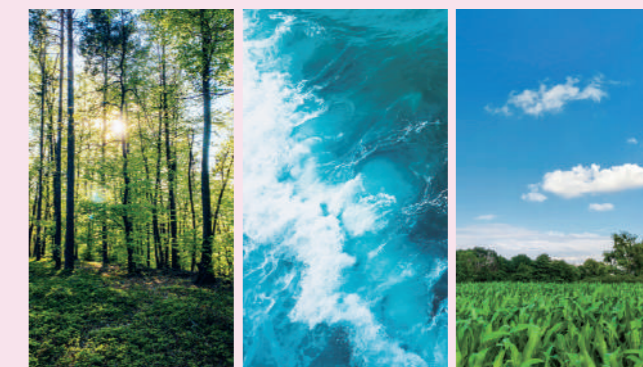


コミュニケーションと報告

フルハシEPOではE(環境)、S(社会)、G(ガバナンス)などの非財務情報を「フルハシEPOレポート」において開示しています。

未来への挑戦

当社では、国内の森林資源を有効活用する「グリーン・ジャパン・プロジェクト」、海洋バイオマス開発を行う「ブルー・オーシャン・プロジェクト」、有機水耕栽培の技術開発に挑戦する「オレンジ・サン・プロジェクト」の3つのプロジェクトを推進しています。持続可能な社会の構築に資することを目指し、さらなる研究開発を進めてまいります。



フルハシEPOは「国連グローバル・コンパクト」に参加しています

当社は、2005年から国連グローバル・コンパクトに賛同し参加しています。グローバル・コンパクトは、1999年の世界経済フォーラムにおいて、コフィー・アナン国連事務総長(当時)が企業に対して提唱したイニシアチブです。グローバル・コンパクトは企業に対し、人権・労働権・環境・腐敗防止に関する10原則を遵守し実践するよう求めています。

当社はSDGsとのかかわりを含め、透明性や健全性、倫理性のある事業活動を推進することで、グループ経営にグローバル・コンパクトの精神を取り込んでいます。

